

新基地建設反対名護共同センターニュース

玉城デニー氏が知事選出馬表明



出馬会見場には、玉城氏の隣の席に故・翁長氏の青い帽子が置かれていました。ひやみかちうまんちゅの会の呉屋守将会長、謝花喜一郎副知事、オール沖縄の国会議員、首長、地方議員、労働団体・市民団体代表などが立ち会いました。宜野湾市長選への出馬表明した仲西春雅氏、10月に行われる豊見城市長選の山川仁予定候補、再選をめざす城間みきこ那覇市長、稲嶺進前名護市長などが勢ぞろいしました。

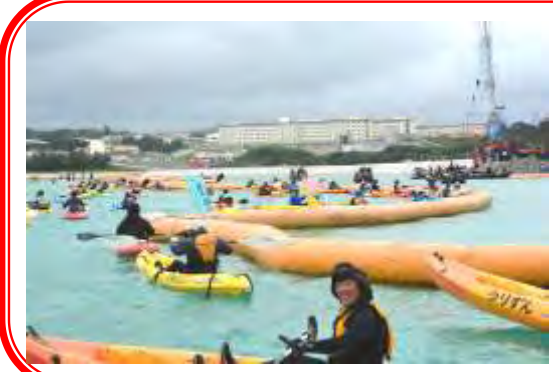
沖縄県知事選挙に向け衆院議員の玉城デニー氏が29日、正式に出馬を表明しました。玉城氏は「ゆいまーると肝心（ちむぐくる）で自立と共生の沖縄をめざす。生まれてくる子どもたち、明日を担う若者たちに平和で真に豊かな、誇りある沖縄、新時代沖縄を託せるように全力疾走でがんばる」と決意を示しました。辺野古新基地建設について玉城氏は「絶対に避けて通れない争点だ。翁長知事は『あらゆる手段を尽くして新基地建設を止める』と言っていた。しっかりと私も引き継いでいく。1ミリもぶれることはない」と強調。経済政策について「沖縄21世紀ビジョン、アジア経済戦略構想などをさらに前進させていく」と述べました。

翁長氏の遺志を継ぎ「辺野古阻止を貫徹」
基地のない平和で誇りある豊かな沖縄を

普天間即時撤去・閉鎖、「建白書」実現へ 宜野湾市長選 仲西氏が出馬表明



知事選と同じ9月30日投開票で行われる宜野湾市長選挙へ「オール沖縄」から前県高校P「A連合会会長の仲西春雅氏（57歳）が立候補することを表明しました。29日の記者会見で仲西氏は、普天間基地の県内移設断念などを盛り込んだ「建白書」実現を基本政策に掲げ、教育の充実や経済振興を重点政策に挙げました。記者からの質問に答え「辺野古新基地建設に反対する」と明確に述べました。
仲西氏は昨年12月、緑が丘保育園、普天間第2小学校で起きた米軍機からの落下事故に抗議する「市民大会」の実行委員長を務めました。



沖縄県は辺野古埋め立て承認を31日にも撤回することを決めました。報道によると県が防衛局から弁明を聞いた「聴聞」の報告書で、県側が指摘した18項目のうち15項目で違法性を認定し、撤回処分を実行する方針を確認したとのことです。撤回されれば国は工事を進める根拠を失います。今後、「撤回」問題は再び裁判闘争に入ります。知事選結果を含む世論の動向と運動の進展が大きく影響するものとみられます。

県、31日にも承認撤回